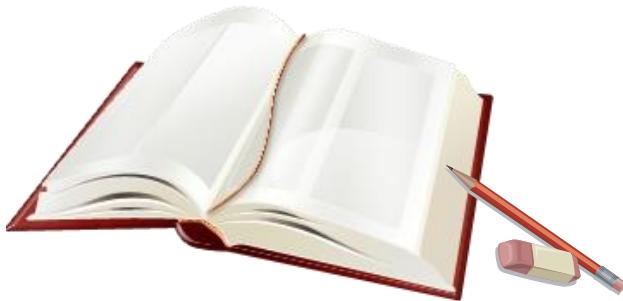


第14回『泉大津市オリアム隨筆賞』^{エッセイ}

応募要領



この隨筆賞の「オリアム」とは、泉大津市の特産品である毛布・ニット・毛織物などを連想させる「織」と「編」に由来しています。

令和7年6月

泉大津市 地域経済課

1. 目的

国内生産の約9割を占める毛布をはじめ、ニット製品や毛織物を生産する「纖維のまち・泉大津」を全国へPRすることにより、地域産業の活性化を図ります。

2. 主催等

主催： 泉大津市 後援： 泉大津商工会議所、泉大津市教育委員会

3. 募集期間

令和7年6月2日（月）～9月30日（火）

※郵送の場合、当日消印有効。窓口の場合は17時00分まで。

4. 応募資格

制限はありません。（最優秀賞（オリアム隨筆賞）受賞者を除く）

5. テーマ

衣服や纖維製品にまつわる思い出や感動したことなど、“纖維製品”に触れる内容にしてください。

6. 応募作品

- 応募者オリジナルの未発表と認められるエッセイで、日本語で書いたものに限ります。
また、他の文学賞などへの二重送稿された作品は不可とします。
※エッセイとは、暮らしの中で感じたこと、経験や意見を表現した文章をいいます。
- 作品の中で“纖維製品”に触れてください。
- 400字詰原稿用紙（A4）5枚。 ※4枚以下6枚以上の場合は不可とします。
- 用紙の1行目に作品タイトルを、2行目から本文を記載してください。原稿用紙内に氏名の記載は不要です。
- パソコン推奨設定：ワードの原稿用紙設定を20字×20行、文字の大きさは12ポイント程度、用紙の上下左右の余白はそれぞれ3cm程度、右綴じ、縦書きでA4横判、下余白中央部分に通し番号（1～5）を記載してください。

7. 応募点数

一人2作品までとします。

8. 応募方法

- 所定の応募用紙に必要事項を記入の上、次の住所に持参または郵送するか、以下に記載のオンライン応募フォームよりご応募ください。

- 住所：〒595-8686 大阪府泉大津市東雲町9番12号

泉大津市役所 地域経済課 オリアム隨筆係 宛

※ 応募用紙は市のホームページからダウンロード可能



市 HP

オンライン応募フォーム

9. 選考

最終選考については、次の選考委員により決定します。

有栖川有栖氏、玉岡かおる氏、室井滋氏、吉村萬壱氏（五十音順）

なお、選考に関するお問い合わせには応じられません。

10. 賞金等

- 最優秀賞（オリアム隨筆賞） 1作品 （賞金50万円・賞状）
- 優秀賞 2作品 （賞金5万円・賞状）
- 佳作 3作品 （賞金3万円・賞状）
- 泉大津市長賞 1作品 （泉大津市特産品2万円相当・賞状）

賞状と副賞は授賞式で贈呈します。賞金は後日振込します。

なお、泉大津市長賞は、泉大津市在住者の応募作品を対象とします。

11. 発表

令和8年1月初旬に泉大津市ホームページへ掲載し、令和8年2月号広報紙で発表（氏名、住所（市区町村名まで）及び年齢等）する予定です。また、入賞者を含めた最終選考対象者には12月初旬頃に通知しますが、それ以外の方には通知しません。

なお、入賞者は、報道機関等にも記事提供しますので、場合により顔写真の提供をお願いする場合があります。

12. 授賞式

入賞者の授賞式は、令和8年3月22日（日）に選考委員をパネリストに迎えたディスカッション形式の文学フォーラムとあわせて行います。

なお、入賞者には、原則として授賞式及び文学フォーラムへのご出席をお願いいたします。

13. 注意事項

- 応募作品は、著作権や肖像権に抵触しないように注意してください。応募作品にこれらの問題が発生しても、泉大津市には一切関係なく、その責任・解決は全て応募者が負うものとします。
- 入賞作品の著作権は泉大津市に帰属し、応募作品は返却しません。
- 応募作品が応募者オリジナルの未発表作品でないと判明した場合は、応募者は賞金と賞状を返還するものとします。

14. 問い合わせ先

泉大津市 市長公室 地域経済課

〒595-8686 大阪府泉大津市東雲町9番12号（泉大津市役所）

TEL 0725-33-1131（代表） FAX 0725-32-6000

【選考委員プロフィール】

<有栖川 有栖>



ミステリーの最前線で活躍している代表的な推理作家。昭和34年、大阪市生まれ。同志社大学法学部卒。

平成15年、「マレー鉄道の謎」で日本推理作家協会賞、平成20年、「女王国の城」で本格ミステリ大賞、平成30年、火村英生シリーズで吉川英治文庫賞を受賞。

大阪に在住し、大阪を舞台にした作品も多い。作品の多くは中国、台湾、韓国でも翻訳出版され、TVドラマの原作にもなっている。現在まで、数々の文学賞選考委員を務めている。

<玉岡 かおる>



神戸文学賞受賞作『夢食い魚のブルー・グッドバイ』で文壇デビュー、著書多数。TVドラマ化・舞台化された話題作『お家さん』で、第25回織田作之助賞を受賞。

「帆神～北前船を馳せさせた男・工楽松右衛門」で第41回新田次郎賞、第15回舟橋聖一賞のW受賞。

最新作は『さまよえる神剣』。

また、大阪芸術大学文芸学科教授でもあり、大阪市博物館機構理事、阪急文化財団理事・名誉館長なども務めている。

<吉村 萬吉>



昭和36年、愛媛県松山市生まれ、大阪育ち。京都教育大学卒業後、高校教師や支援学校教諭を経て、平成13年「クチュクチュバーン」で第92回文學界新人賞を受賞。

平成15年「ハリガネムシ」で第129回芥川賞、平成28年「臣女」で第22回島清恋愛文学賞を受賞。

「かいづか家族の日エッセイコンクール」の選考委員を務めている。

<室井 滋>



富山県生まれ。早稲田大学在学中に映画デビュー以降、映画「居酒屋ゆうれい」「のど自慢」などで多くの映画賞を、2012年日本喜劇人大賞特別賞、2015年松尾芸能賞テレビ部門優秀賞を受賞。ラジオ、朗読、ナレーションなどにも数多く出演。女優業の傍ら随筆や絵本の執筆を続ける。新語・流行語大賞の選考委員を務める。2023年4月より富山県立高志の国文学館館長に就任。2024年には、5年ぶりにエッセイ「ゆうべのヒミツ」を出版の他電子書籍化含め著書多数。

また、絵本『しげちゃん』が令和6年度版 教科書『小学道德 ゆたかな心』5年（光文書院発行）に掲載。